

# 渡島・檜山地方の気象

平成22年8月（2010年）

函館海洋気象台

平成22年10月4日

## ◎ 気象概況

この期間の天気は周期的に変わり、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や気圧の谷の影響で曇や雨の日もあり、大雨となった日もあった。また、太平洋高気圧の影響で、南から湿った暖気が頻繁に流入し、7月に続き気温は平年よりかなり高く経過した。

月平均気温は平年より高く、月降水量は平年並～平年より多く、月間日照時間は日本海側は平年並～平年より少なく、そのほかは平年並～平年より多かった。

### 【上旬】

1日は、低気圧からのびる寒冷前線の接近で、雨が降った。2日は、前線の通過で曇ったが、晴れた所もあった。3日は、高気圧の縁辺で、概ね晴れた。4日は、前線が停滞して、曇で雨の降った所があった。5日は、前線が停滞した影響で曇ったが、夕方から高気圧に覆われて晴れた所があった。6～7日は、高気圧に覆われ晴れて、6日に函館市川汲 32.3℃、木古内で 34.1℃の日最高気温を、7日に函館市川汲で 24.7℃、函館市美原で 24.5℃の日最低気温を観測し、それぞれ8月における高い方からの極値を更新した。8日は、前線の通過で、午前中は雨が降ったが午後からは晴れた所があった。9日は、高気圧に覆われたが、南から暖かく湿った空気が流入し、大気的不安定な状態で概ね曇った。10日は、高気圧に覆われて晴れたが、太平洋側では曇った所があった。

### 【中旬】

11～12日は、前線や台風第4号の影響で大雨となり、11日に七飯町大沼で日最大1時間降水量 38.5 mm、八雲町熊石で日最大1時間降水量 59.0 mm、日降水量 166.0 mm、乙部町潮見で日最大1時間降水量 66.5 mm、日降水量 143.0 mmを観測し、それぞれ8月における極値を更新した。13日は、台風第4号の通過後、高気圧の縁辺で概ね晴れた。14日は、気圧の谷の中で、檜山地方では曇ったが渡島地方では晴れた所があった。15日は、低気圧が接近して、この低気圧に伴う前線が通過して雨が降った。16日は、気圧の谷の中で、午前中は曇ったが午後から晴れた所もあった。17日は、気圧の谷の中で、概ね曇った。18～20日は、高気圧に覆われて、晴れた。

### 【下旬】

21日は、気圧の谷の接近で、概ね曇った。22日は、気圧の谷の通過で、曇って雨の降った所があった。23日は、低気圧や前線の接近で、雨が降った。24日は、低気圧や前線の通過で、大雨になった所もあった。25日は、気圧の谷の通過で、曇った。26日は、気圧の谷の中で曇ったが、次第に高気圧に覆われて概ね晴れた。27日は、高気圧に覆われて、概ね晴れた。28日は、高気圧に覆われて、晴れた。29日は、高気圧に覆われて、概ね晴れた。30日は、高気圧の縁辺で日中は晴れたが、次第に低気圧が接近し雨が降った。31日は、寒冷前線の通過で、雨が降った。

**気 温**：各地点の月平均気温は 22.5～25.0℃で、平年差は+1.6～+3.1℃。

長万部・八雲町熊石・今金・厚沢部町鶉で平年より高いほかは、平年よりかなり高く、函館市川汲で 23.5℃、北斗で 24.1℃、木古内で 24.0℃、せたな町瀬棚で 23.8℃の観測した月平均気温は、8月における高い方からの極値を更新した。

**降 水 量**：各地点の月降水量は 135.0～370.5 mmで、平年比は 69～182%。

函館市川汲・北斗・函館市美原・木古内・松前・福島町千軒・上ノ国町石崎で平年並のほかは、平年より多く、江差では月最大 24 時間降水量 184.0mm を観測し、8月における極値を更新した。

**日照時間**：各地点の月間日照時間は 109.5～160.9 時間で、平年比は 74～118%。

八雲町熊石・江差で平年より少なく、八雲町八雲・木古内で平年より多いほかは、平年並だった。

注：数値に、] や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

### ◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値

	気温 (°C)		降水量		日照時間	
	月平均	平年差	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)
函 館	24.7	+3.0	135.0	84	156.8	100
江 差	24.8	+2.4	247.0	163	132.5	78

(平年比・差は 1971 年から 2000 年までのデータで算出した平年値を用いて求めている。)

### ◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の極値更新表

官署名	項目名	観測した極値	起年月日	従来の極値	起年月日	統計開始年
函 館	8月(統計開始から)における日最低気温の高い方から	24.5℃	2010年 8月7日	24.4℃	2004年 8月1日	1872年
江 差	8月(統計開始から)における月最大 24 時間降水量	184.0mm	2010年 8月12日	182.5mm	1995年 8月20日	1971年

### ◎ 異常気象および気象災害発生状況

《8月1日～31日、渡島地方》

概 況：8月、北海道付近では、太平洋高気圧の張り出しの中で、南から暖気が流入し気温の高い日が続いた。このため、8月6日に統計開始からの日最高気温の高い方からの極値を函館市川汲・木古内などで更新し、8月7日に統計開始からの日最低気温の高い方からの極値を函館市美原・森・函館市川汲・函館空港などで更新した。

気象現象名：高温

気象災害名：酷暑害

気象観測値：日最高気温・平年差（函館市美原）	33.0℃・+7.0℃（6日11時49分）
日最高気温・平年差（木古内）	34.1℃・+9.8℃（6日13時55分）
期間平均気温・平年差（函館市美原）	24.7℃・+3.1℃（1日～31日）
期間平均気温・平年差（松前）	25.0℃・+2.4℃（1日～31日）

被害状況：この期間、渡島地方では熱中症で67人が病院に搬送された。また、家畜も高温のため日射病や熱射病になり、乳用牛16頭が死傷となる被害が発生した。

《8月11日～12日、渡島・檜山地方》

概況：北海道付近には停滞前線があつて、台風第4号からの暖湿気により活発化しながら北海道を南下した。

気象現象名：大雨、強雨

気象災害名：浸水害、山がけ崩れ害、その他（雨害）

気象観測値：【渡島地方】

期間降水量・平年比（函館市美原）	91.5mm・1,028%（11日～12日）
期間降水量・平年比（八雲町八雲）	219.0mm・1,810%（11日～12日）
最大日降水量（函館市美原）	47.0mm（12日）
最大日降水量（八雲町八雲）	119.5mm（11日）
最大1時間降水量（函館市美原）	14.0mm（11日07時15分まで）
最大1時間降水量（森）	50.5mm（11日21時31分まで）
最大10分間降水量（函館市美原）	5.5mm（11日06時32分まで）
最大10分間降水量（森）	24.0mm（11日20時43分まで）

気象観測値：【檜山地方】

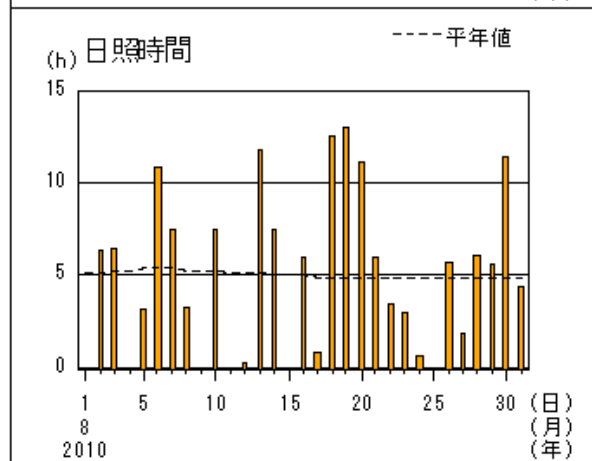
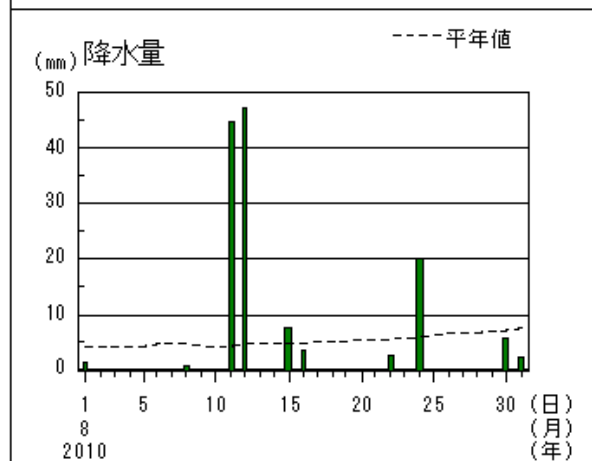
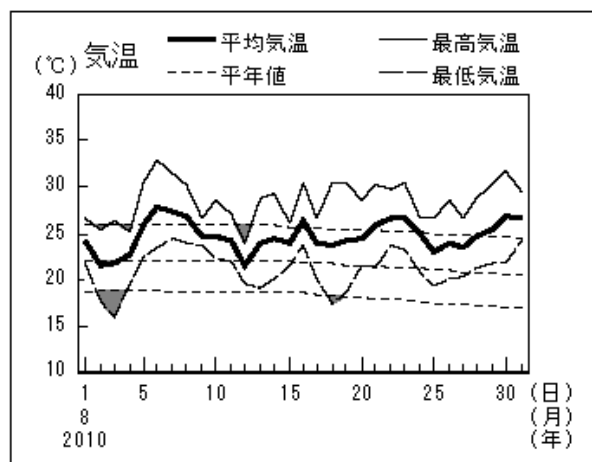
期間降水量・平年比（江差）	204.0mm・2,429%（11日～12日）
期間降水量・平年比（乙部町潮見）	232.5mm・2,642%（11日～12日）
最大日降水量（江差）	109.5mm（12日）
最大日降水量（乙部町潮見）	143.0mm（11日）
最大1時間降水量（江差）	43.5mm（11日21時39分まで）
最大1時間降水量（乙部町潮見）	66.5mm（11日20時37分まで）
最大10分間降水量（江差）	14.5mm（12日00時46分まで）
最大10分間降水量（乙部町潮見）	24.0mm（11日19時48分まで）

被害状況：このため大雨や強雨の影響により、八雲町・森町・厚沢部町・乙部町・江差町で床上・床下浸水の住家被害、高速道路（道央道八雲IC～落部IC）・国道・道道・町道など数十か所で土砂崩れや道路冠水および落石等災害発生危険性があるための通行止めやJR江差線・函館本線で一時不通など交通障害、奥尻町・せたな町・八雲町で断水による水道障害、江差町で停電による電力障害、八雲町・乙部町・せたな町で水産製品など漁業被害、八雲町・七飯町・森町・上ノ国町・乙部町・今金町・せたな町で林道や治山施設など林業被害、内水氾濫等により農地が冠水し檜山地方を中心に八雲町・森町など農業被害が広範囲に発生した。

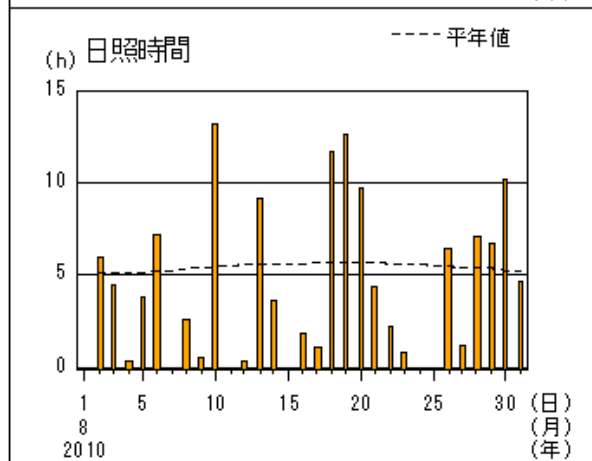
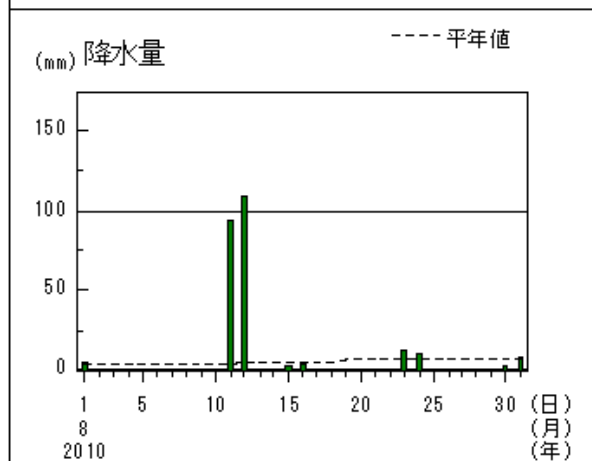
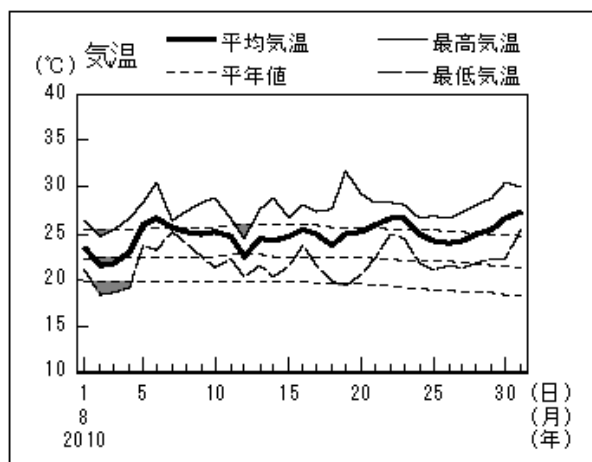
◎ 気象経過図（8月）

地上気象：2010年8月1日-2010年8月31日

函館



江差



## ◎ 気象分布図（8月）

注：以下の気象分布図は地域気象観測統計に基づき作成しているため、気象官署の函館および江差の値が異なる場合がある。

